

第4期四谷地区協議会会議録

分科会名	課題別 PT 防災・地域安全	開催回	第1回	
開催日	平成23年6月17日(金)18:30～20:30			
出席者	区民	4名	職員	2名
決定事項	①工学院大学と花園小学校区域の町会が連携する防災訓練への参加			
	②救急救命法講習会の開催			
会議内容 主な意見	<p>1 第4期四谷地区協議会委員自己紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者自己紹介 <p>2 第3期の活動について（活動概要の説明）</p> <p>○避難所訓練 「自分たちで訓練を考える」ことの啓発を広報誌「声」を通じて発信した。工学院大学の関与が貴重な体験になった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・素人ではわからない、プロから見た訓練の在り方を学べた。 ・防災についてわからなかったこと他人事に思えてきたことを「防災学」という学問として見直していけたらよいと思う。 ・行政からの発信だけでは重要性が身に沁みなかった。工学院大学のレクチャーにより訓練の重要性を感じてきた。 ・今回をきっかけに町会が独自に「防災」を考えて積極的に動き出してきた。 <p>○救命講習会（乳幼児対象）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若い人に支持されてきた。実際にAEDを使用することは難しいと感じるかもしれないが、事前に学び迅速な対応ができるよう今後も継続したい。 <p>3 今年度の活動、新規活動案などの確認計画について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意見交換 <p>■救命講習会（乳幼児対象）について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も継続して行いたい。お母さん方（保護者）が、実際に目で見て耳で聞きながら何回か繰り返し覚えていただきたい。 ・若い世代から孫を預かる祖父母の参加もあった。 ・消防署の救命講習会だけではなく、事故の実例などを交えたレクチャーを望まれている。内容を検討していきたい。 →孫が飲み込んだご飯が思いのほか熱かった時がある。喉の痛みを訴えられ狼狽えたことがある。救命措置が必要な事故だけではなく身近な怪我、危険などに対応できる知識を学びたいと思う。 ・講習会を一方的にするのではなく、必要とする会に出向く「出張防災講座」のような形態を検討したい。 ・9月11日に開催予定である子育て応援イベントでアンケートをとり、どのような企画を求められているか探ってはいかがか。 			

- ・今後開催される四谷地区乳幼児関連団体連絡会でも意見を伺うこともよいと思う。

■新提案事項について（意見交換）・計画案

【提案事項「中学生の避難所訓練参画」の骨子】

- ・防災・地域安全は重要な課題だと思う。その中でも中学生の地域の避難所訓練への関与が希薄であることを問題と感じる。
その点については以前から中学生の避難所訓練参画を望んでいたが諸事情により話が進まない状況であった。
(四谷中学区での避難所訓練参画は教員の出勤問題があり主幹教諭も苦労している。)
- ・避難所訓練当日ではなく準備段階から中学生が参加することで意義ある活動となる。そこには教員の指導力が必要不可欠であり、適切な指導により中学生の役割を自覚してもらうチャンスである。
- ・四谷中学校区域は、四谷1丁目町会・若葉1丁目2丁目3丁目の町会が管轄している。
- ・当会には学校側の希望や中学生の指導に意見をいただくような役割を持っていただきたい。
- ・地域防災について中学生にどのようなことをアプローチしたらいいかを学校側に伝えていきたい。

●意見交換

- ・防災活動に中学生が参加できるような仕組みは大切。推進すべきだと思う。
- ・学校運営協議会と連携しながら生徒が地域ボランティアとして避難所を運営する側に回ることが必要ではないか。
- ・東日本大震災では中学生が学校内の誘導や炊き出しを手伝い、ボランティア活動の戦力になっていると伺っている。ぜひ訓練でそのような体験をしていただき役割を持つことで地域の一員であることを自覚して欲しい。
- ・中学生には訓練で疑似負傷者用看板を持つ等、できることはたくさんある。

- ・指導する先生の課題が多い。先生が消化不良となっている状況でなかなか話の先が見えなかった。しかし震災以降は自分たちの活動として備える必要性を感じている今が良い機会だと思う。

- ・3月11日（震災当日）には避難所に指定されている、ある小学校では避難所として開放する際に特別に学校側の意向はなかった。
- ・一方四谷中学校では帰宅困難者が押し寄せる中、学校の意向が強く反映され学校に入れてくれなかった。区災害対策本部と出張所（担当職員）の見解の相違もあり避難所立ち上げ時の混乱を招いた。今後の反省点でもある。

	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の壁は厚い。教育現場としてのこだわりがある。過去に被災地で体験したことが、学校判断で給食調理室の使用許可が下りず、大人数の調理がそこ（給食調理室）で賄えるのに校庭で調理せざるを得ないこともあった。遺憾を感じる。 ・町会としても中学生が頼りになることを知っていただき、中学生にも地域が期待している感覚を味わってほしい。 ・仮設トイレの組み立ても経験してみないとわからない。 ・協議会の役割として、訓練参加前に避難所設営についてレクチャーをさせていただくことはどうか？例えば識者を招き東日本大震災で現地の中学生がどのような活躍をしたか実際にイメージできる講座を開催し、訓練に参加してもらおうと有意義ではないか？ <p>→中学生のボランティア参加に学校より正規に与えられた時間はない。打ち合わせで30分使えるかどうかといった程度・・・</p> <p>→四谷中学コミュニティスクールでの講座にも中学生（保護者）の任意参加はほとんど集まらない。（こちらからのアプローチでは関心持っていただけでない）やはり授業の一環としなければ残念な結果になる。</p> <p>→校長、副校長に<u>防災教育の一環として協議会主催のレクチャーを提供できる環境があるが学校で時間をいただけるかと提案できる</u>と思う。</p> <p>→全校生徒が聴いてくれるような強制力ある時間、例えば夏休み前の終業式朝礼時（7月20日）に15分～20分程度いただけるよう学校に伺うことを検討したい。</p> <p>→四谷中学の避難所運営協議会（町会）にも今回の話を投げかけて合意形成を整え進めていきたい。</p> <p>→5年かけて5か所の避難所で体験できればよいとするぐらいの覚悟で始めたい。今年が初回なので結果が思うようにならなくても毎年継続していく中で形を作りたい。協議会で提案していただけるなら推進していきたい。</p> <p>→地域協働学校へ協議会が参画していくことも大切かと思う。今回の震災により教師も意識改革が芽生えてきた。互いが歩み寄り今やらなければならないと強く感じる。</p> <p>→事務局よりグローバルリンク（工学院大学客員研究員 危機管理コンサルタント）に中学生向けレクチャーを依頼できるか打診する。 6月19日確認状況・・・依頼可能。費用2、3万円程度（資料300部含む）</p>
次回日程	未定 四谷中学避難所運営協議会開催日による 開催時間17:00～

